

研究実施のお知らせ

2026年3月23日 ver.2.0

研究課題名

担がん患者の味覚に関する研究

研究の対象となる方

2014年4月～2025年1月31日までの期間で以下に該当する方

- ①がん患者さんで島根大学医学部附属病院に通院・入院し、味覚機能検査、口腔機能検査を提案したが実施にいたらなかった方
- ②がん患者さんで島根大学医学部附属病院に通院・入院し、味覚機能検査、口腔機能検査を受けた方
- ③非がん患者さんで糖尿病にて島根大学医学部附属病院に通院・入院し、味覚機能検査、口腔機能検査を受けた方

研究の目的・意義

がん患者さんが目的とする治療を最後まで行うためには栄養管理が重要です。食事を食べることも栄養状態を維持するために重要ですが、治療中に食べにくさが認められることがあります。その原因には、化学療法や放射線療法、外科的治療などによる嘔気・嘔吐や下痢・便秘、気持ちの落ち込みなど様々あるといわれていますが、味覚障害も食事が食べにくくなる原因の一つです。また、がん患者さんの中には糖尿病を合併することもあり、糖尿病をもつ患者さんにはその病態により味覚障害が出現することが多いといわれています。

そこで本研究では、がん患者さんの味覚障害の有無、味覚機能検査・口腔機能検査実施状況とその結果をまとめ、さらに糖尿病の有無による違いを明らかにするとともに、栄養状態が維持できる効果的な栄養管理・食事対応について検討することを目的としています。これらが明らかになれば、がん患者さん、糖尿病をもつがん患者さんの今後の栄養管理の確立に貢献することが可能となります。

研究の方法

電子カルテ上から次の項目を抽出します。(味覚機能検査・口腔機能検査を受けなかった理由、当院の管理栄養士が聞き取りにて聴取・対応した患者さんの食べやすいもの、食べにくいもの、食欲低下時期、味覚異常の有無・出現時期、年齢、性別、身長、体重、BMI、食事摂取量、悪性疾患名、発症時期、治療内容、治療期間、口内炎の有無、糖尿病の有無、糖尿病有の場合は診断時期・治療内容・

合併症の有無、検査データ：CBC、TP、Alb、ChE、TTR、HbA1c、血糖値、肝・腎機能、電解質、微量元素、味覚機能検査結果、口腔機能検査結果)

上記において糖尿病合併の有無、がん合併の有無に分けて違いがあるか検討します。

研究の期間

2025年1月（研究許可後） ～ 2027年3月

研究の公表

この研究から得られた結果は、医学関係の学会や医学雑誌などで公表します。その際にあなたのお名前など個人を特定できる情報を使用することはありません。

研究組織

この研究は次の機関が行います。

研究責任者（研究で利用する・情報の管理責任者）：

島根大学医学部附属病院栄養治療室 平井順子

情報の利用停止

ご自身の・情報をこの研究に利用してほしくない場合には、ご本人または代理人の方からお申し出いただければ利用を停止することができます。

なお、利用停止のお申し出は、2025年7月までをお願いいたします。それ以降は解析・結果の公表を行うため、情報の一部を削除することができず、ご要望に沿えないことがあります。

相談・連絡先

この研究について、詳しいことをお知りになりたい方、ご自身の・情報を研究に利用してほしくない方、その他ご質問のある方は次の担当者にご連絡ください。

研究責任者：

島根大学医学部内科学講座内科学第一 金崎啓造

〒693-8501 島根県出雲市塩冶町 89-1

電話 0853-20-2183 FAX 0853-23-8650